

# マスタデータマージプラグイン 初期設定マニュアル

## Master Data Merge Plugin — Setup Guide

本マニュアルはプラグイン導入時の初期設定手順を説明します。

最終更新：2026年4月

### 目次

- プラグインの概要 — このプラグインでできること
- 導入前の確認 — 必要な準備
- 重複確認アプリの作成 — フィールド構成と設定値
- プラグインのインストール — CompanyMergePlugin.zip のアップロード
- プラグインの設定 — 各アプリIDとフィールドコードの入力
- 動作確認 — 初回テストの手順
- 日常の使い方 — 重複チェックからマージまで

## 1 プラグインの概要

このプラグインは、kintone の対象マスタアプリに登録された重複レコードを自動検出し、安全にマージするためのツールです。

### 主な機能

- 重複チェック実行**：対象マスタの全レコードをスキャンし、重複候補を自動検出して重複確認アプリに登録します。
- 比較・マージ**：重複確認アプリで2つのレコードを並べて比較し、残すレコードを選択してマージを実行します。

- **関連レコードの自動更新**：マージ時に指定した関連アプリの参照先を、削除されるレコードから存続するレコードへ自動で付け替えます。
- **独自コード対応**：レコード番号だけでなく、独自に設定したコードフィールド（会社コード・人物コードなど）を使った参照関係にも対応します。
- **ルックアップ対応**：kintone のルックアップフィールドで参照しているレコードも、マージ時に存続レコードへ自動で付け替えます（コピーフィールドも更新）。

## 利用するアプリ構成

アプリ	役割	備考
対象マスタアプリ	マージ対象のレコードが登録されているアプリ	既存のアプリをそのまま使用
重複確認アプリ	重複候補の一覧表示・比較・マージ操作を行うアプリ	本マニュアルの手順で新規作成

## 2 導入前の確認

### 対象マスタアプリに必要なフィールド

プラグインが動作するために、対象マスタアプリに以下のフィールドを追加してください。

フィールド	型	必須	説明
削除FLG	チェックボックス / ドロップダウン / ラジオ	必須	マージ後に削除済みとみなすフィールド。「削除」等の値をプラグイン設定で指定します。
統合先	文字列 (1行)	必須	マージ後に存続先のレコード番号または独自コードを記録するフィールド。
名前 (会社名・氏名など)	文字列 (1行)	必須	比較画面の表示と重複確認アプリへの書き込みに使用します。
独自コード (会社コード・人物コードなど)	文字列 (1行)	任意	独自コードで管理している場合のみ。なければレコード番号が代わりに使われます。

**注意** フィールドの「フィールドコード」はあとのプラグイン設定で使用します。設定画面（フォームの編集）で確認できます。

### 3 重複確認アプリの作成

kintone で新しいアプリを作成し、以下の通りにフィールドを追加してください。フィールドコードは表の通りに正確に入力してください。

**重要** フィールドコードを間違えるとプラグインが正常に動作しません。フォーム設定画面でフィールドコードを必ず確認してください。

#### フィールド一覧

フィールドコード	ラベル (推奨)	型	選択肢・備考
<code>record_a_no</code>	レコードA レコード番号	数値	自動入力 (プラグインが書き込み)
<code>record_a_code</code>	レコードA コード	文字列 (1行)	自動入力
<code>record_a_name</code>	レコードA 名前	文字列 (1行)	自動入力
<code>record_b_no</code>	レコードB レコード番号	数値	自動入力
<code>record_b_code</code>	レコードB コード	文字列 (1行)	自動入力
<code>record_b_name</code>	レコードB 名前	文字列 (1行)	自動入力
<code>match_reason</code>	一致理由	文字列 (複数行)	自動入力。重複と判定された理由が記録されます。
<code>check_status</code>	確認ステータス	ドロップダウン	選択肢: <code>未確認</code> 、 <code>対象外</code>
<code>process_status</code>	処理ステータス	ドロップダウン	選択肢: <code>未処理</code> 、 <code>マージ済み</code>
<code>merge_target</code>	マージ対象	文字列 (1行)	自動入力。マージ時に存続したレコード ( <code>レコードA</code> or <code>レコードB</code> ) が記録されます。

#### アプリ作成後の確認

- 1 プラグインをアプリに追加する  
重複確認アプリの「設定」→「プラグイン」からプラグインを追加してください。
- 2 アプリIDをメモする  
アプリURLの `/k/123/` の数字がアプリIDです。次のステップで使用します。

### 4 プラグインのインストール

- 1 `cybozu.com` の管理画面を開く  
右上のメニューから「cybozu.com 共通管理」→「プラグイン」を開きます。

## ② MasterMergePlugin.zip をアップロードする

「プラグインの読み込み」から `MasterMergePlugin.zip` を選択してアップロードします。

## ③ 各アプリにプラグインを追加する

対象マスタアプリと重複確認アプリの両方に、同じプラグインを追加してください。アプリの「設定」→「プラグイン」から追加できます。

**ポイント** プラグインは2つのアプリに設置することで動作します。どちらか一方だけでは正常に動作しません。

## 5 プラグインの設定

どちらかのアプリのプラグイン設定画面を開いてください（設定は共有されます）。

### ① アプリID設定

項目	入力内容
対象マスタアプリID	対象マスタアプリのアプリID（数値）
重複確認アプリID	手順3で作成した重複確認アプリのアプリID（数値）

### ② 対象マスタアプリ フィールドコード設定

項目	入力内容	
コード フィールドコード	独自コード（会社コード・人物コードなど）フィールドのフィールドコード。 ない場合は空白（レコード番号を代用）	任意
名前 フィールドコード	名前（会社名・氏名など）フィールドのフィールドコード。比較画面の表示や 重複確認アプリへの書き込みに使用されます。	必須
削除FLG フィールドコード	削除FLGフィールドのフィールドコード	必須
削除FLG フィールドタイプ	チェックボックス / ドロップダウン / ラジオボタン から選択	必須
削除FLG 削除時の値	削除済みとみなすフィールドの値（例： <input type="text" value="削除"/> 、 <input type="text" value="1"/> ）	必須
統合先 フィールドコード	統合先フィールドのフィールドコード	必須
統合先 記録する値	「レコード番号」または「独自コード」を選択	必須

### ③ 重複検知設定

重複と判定する条件を設定します。

**重要** 「名前 フィールドコード」と「検知フィールド」は別の設定です。

「名前 フィールドコード」（②で設定）は比較画面への表示用です。

**実際に重複を検知するフィールドは、この③の「検知フィールド」に登録したもののみが対象になります。**

初回設定時は名前フィールドが自動で追加されますが、電話番号・メールアドレスなど他のフィールドでも検知したい場合は行を追加してください。

項目	説明
テキスト正規化オプション	全角/半角統一、記号除去、スペース除去を任意で有効化できます。「テキスト正規化」照合を使うフィールドに適用されます。
複数フィールドの一致条件	<b>OR</b> : いずれか1フィールドが一致すれば重複とみなす (広めに検知したい場合) <b>AND</b> : すべてのフィールドが一致した場合のみ重複とみなす (確実に一致したものだけ検知したい場合)
検知フィールド	重複判定に使うフィールドを登録します。フィールドコード・ラベル・照合方法を指定してください。 <b>照合方法の選択</b> : <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>テキスト正規化</b> : 上の正規化オプションを適用して比較 (名前・氏名など)</li> <li>・ <b>電話番号正規化</b> : ハイフン・全角を除去し数字のみで比較 (電話番号フィールド専用)</li> <li>・ <b>完全一致</b> : 入力値をそのまま比較 (コードなど揺れないフィールド向け)</li> </ul> <p>※ 検知フィールドが1つしかない場合、OR・AND どちらを選んでもそのフィールドのみが判定対象になります。</p>

#### ④ 「重複チェック実行」ボタン 表示権限

重複チェックボタンを表示するユーザーを選択します。**未設定の場合は誰にも表示されません。**必ず1名以上登録してください。

#### ⑤ 追加比較フィールド設定 (任意)

マージ時の比較画面に追加表示したいフィールドを登録できます。住所・業種・担当者など、判断に必要なフィールドを自由に追加してください。

#### ⑥ 関連アプリ設定 (任意)

マージ時に参照先を自動更新したい関連アプリを登録します。

参照タイプ	説明
レコード番号	kintone が自動採番するレコード番号で参照している場合
カスタムコード	独自コードなど独自の値で参照している場合
ルックアップ	kintone のルックアップフィールドで参照している場合 (コピーフィールドも自動更新)

#### 設定の保存

すべての設定が完了したら「設定を保存」ボタンをクリックしてください。**設定保存後はアプリのアップデートを忘れずに行ってください。**

## 6 動作確認

### ① 対象マスタアプリを開く

レコード一覧画面を開き、「重複チェック実行」ボタンが表示されていることを確認します。（表示権限に設定したユーザーでログインしてください）

**② 重複チェックを実行する**

「重複チェック実行」ボタンをクリックします。完了後、重複確認アプリに検出結果が登録されます。

**③ 重複確認アプリで結果を確認する**

重複確認アプリを開き、レコードが登録されていることを確認します。レコードを開くと比較UIが表示されます。

## 7 日常の使い方

### 重複チェックの実行

対象マスタアプリの一覧画面で「重複チェック実行」ボタンをクリックします。前回のチェック結果（未処理・対象外扱いのもの）は自動でリセットされ、最新の状態で再チェックされます。

**注意** レコード数が多い場合は処理に時間がかかります。完了のアラートが出るまでページを閉じないでください。

### マージの実行

- 1 重複確認アプリのレコードを開く**  
重複候補の2レコードが並べて表示された比較UIが表示されます。
- 2 残すレコードを選択する**  
「レコードAを残す」または「レコードBを残す」のラジオボタンで存続させるレコードを選択します。フィールドごとにどちらの値を採用するかも選択できます。
- 3 「マージ実行」をクリックする**  
確認ダイアログが表示されます。内容を確認して「OK」をクリックするとマージが実行されます。
- 4 重複でない場合は「別のレコード（スキップ）」をクリック**  
実際には重複でなかった場合は「別のレコード（スキップ）」をクリックします。確認ステータスが「対象外」に更新され、次回のチェック時はスキップされます。

### マージ後の状態

対象	変更内容
削除されるレコード	削除FLG がセットされ、統合先フィールドに存続レコードの番号が記録されます。
関連アプリのレコード	削除レコードへの参照が存続レコードへ自動で付け替えられます。
重複確認アプリのレコード	処理ステータスが「マージ済み」に更新されます。

**お問い合わせ** 設定方法や動作に関するご不明点は、プラグイン販売元までお問い合わせください。